

目 次

第30回学術集会 記念シンポジウム「日本の馬の歴史と利活用からみた将来展望」
平成29年11月27日（国際ファッションセンター（KFC Hall & Rooms））
座長：楠瀬 良（(公社)日本装削蹄協会）

講演

日本の馬の歴史	楠瀬 良	1
日本における馬の利活用	荒川由紀子	4
日本在来馬の現在・未来	藤田 知己	9
内国産乗用馬の現在・未来	山下 大輔	16
日本のサラブレッドの現在・未来		
—競走馬のセカンドキャリアへの展開—	角居 勝彦	21
日本のサラブレッドの現在・未来—競走馬の馬術競技馬への転用—	木口 明信	26
馬の将来展望—我々は馬のために何をなすべきか—	局 博一	30
総合討論		33
書籍紹介		35
Journal of Equine Science Vol. 29 No. 2, June 2018 和文要約		37
お知らせ		39
協賛団体名・賛助会員名簿		40
Hippophile 投稿に関する基準		41
編集後記		

Hippophile No. 73

—編集委員—

編集担当常任理事	楠瀬 良（日本装削蹄協会）	
編集委員長	楠瀬 良（日本装削蹄協会）	
編集委員	相川 貴志（地方競馬全国協会）	関 正喜（ジャーナリスト）
	荒川由紀子（農林水産省）	永井富美子（エディター）
	有吉 正徳（朝日新聞社）	沼田 恭子（NPO 法人引退馬協会）
	石田 信繁（JRA 競走馬総合研究所）	古林 英一（北海学園大学）
	北野あづさ（日本馬術連盟）	三浦 暁子（エッセイスト）
	木村李花子（東京農業大学）	守谷 久（ジャーナリスト）
	近藤 誠司（北海道大学）	山口 洋史（全国乗馬倶楽部振興協会）
	末崎 真澄（馬の博物館）	山下 大輔（日本馬事協会）
	杉本 篤信（地方競馬全国協会）	

表紙絵：騎手（The Jockey）：アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック（1864-1901）1899年 49.8×34.1 センチ多色刷り
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science